

舞鶴若狭自動車道の4車線化

工事は順調に進行中です

福知山IC～綾部IC間は2020年度末完成予定



綾部PA付近 奥が「伊佐津川橋」



綾部側から見た舞鶴西IC付近の工事

舞鶴若狭自動車道は、中国自動車道の吉川JCTから分岐し、舞鶴市を経て北陸自動車道の敦賀JCTまでの約162kmの高速自動車国道です。

平成26年7月に小浜IC～敦賀JCT間の供用開始で全線が開通しましたが、福知山ICから東方向は、京都縦貫自動車道と接続する綾部JCT付近の7.8kmや追い越し車線が設けられている部分を除いて、ほぼ暫定2車線の道路となっています。

このため、舞鶴市や舞鶴商工会議所などでは、他の自治体を含めた関係者とともに、安全で快適な走行や一層の地域振興を実現するため、4車線化を国などに要望を続けていました。

その成果として、平成18年には、福知山IC～舞鶴西IC間について、国から4車線化の認可があり、現在工事が全線で着手されています。綾部PA～舞鶴西IC間で、伊佐津川橋（213㍍）や黒谷真倉トンネル（2,241㍍）などが完成したことから、去る6月23日には対面通行が解消されています。

また、舞鶴西IC方向（下り）への道路については、9月8日午前0時（予定）から片側2車線として供用されるとともに、年内には4車線区間としての供用開始が行われることになりました。

一方、福知山IC～綾部IC間についても、橋梁工

事やトンネル掘削などの工事が、それぞれ順調に進められており、2020年度の供用開始が見込まれています。

なお、舞鶴西ICから舞鶴東IC方面の4車線化については、現在のところ国の認可がまだなことから、去る7月に行った国への要望に際し、舞鶴若狭自動車道の果たす役割の重要性を踏まえて「舞鶴西IC以東の全線4車線化の早期事業化」を強く訴えたところです。

舞鶴商工会議所では、引き続き舞鶴若狭自動車道の整備促進に全力で取り組むことにしています。（※写真はいずれもNEXCO西日本提供）

舞鶴若狭自動車道 4車線化事業

